

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和5年度技術情報第6号（サトウキビの黒穂病）について（送付）

サトウキビの黒穂病が喜界町で確認されています。

発病株の持ち出しなど適切な防除に努めてください。

なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（www.jpnn.ne.jp/kagoshima）にも掲載しています。



令和5年度 技術情報第6号

1 農作物名 サトウキビ

2 病害虫名 黒穂病

3 情報の内容

(1) 発生地域 大島郡喜界町

(2) 発生状況（令和5年6月9日、大島支庁農政普及課特殊病害虫係喜界町駐在調べ）

ア 発生ほ場率:0.43%（町の栽培面積 約1,500ha）

イ 発生確認品種：「農林23号」，「農林27号」

ウ 発生している作型：「株出し」，「夏植え」

4 発生生態および被害

(1) り病茎は健全茎よりも茎が細く、節間が長くなる。先端部は長い鞭状物（いわゆる黒穂）となる（図1）。

(2) 病原菌は糸状菌の一種であり、胞子が風や雨水で分散し、地上芽や地下芽に感染する（図2）。

(3) 株出回数が多くなるほど発病株率は高くなる。

(4) り病株から採苗すると植付後に発病し、新植ほ場へ広がる。

5 防除上注意すべき事項

(1) 発病株は鞭状物の出現前に、ほ場外に持ち出し、適正に処分する。

(2) 鞭状物の出現した茎は、胞子の飛散を防ぐために、ビニール袋をかぶせて抜き取り、適正に処分する（図3）。

(3) 発病ほ場や隣接ほ場から採苗しない。また、来歴の明らかな苗を使用する。

(4) 植付け時に農薬により苗を消毒をする。

(5) 多発ほ場や放棄ほ場は早急に更新する。

(6) 抵抗性品種を植え付けるようにする。



図1 サトウキビ黒穂病の症状（大島支庁農政普及課特殊病害虫係喜界町駐在撮影）
赤丸：症状部位



図2 サトウキビ黒穂病菌の孢子

図3 黒穂病発病株の持ち出し方法

（農業開発総合センター大島支場撮影）